

少数台数のリコール届出の公表について（平成16年10月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成16年10月は下記のとおり11件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月5日	1271	車名：日野 型式：PB-HR7JHAE等 通称名：日野レインボー	12	平成16年9月13日～ 平成16年9月29日
不具合の部位等	オルタネータ用アースケーブルの線径が不適切なため、発電時にアースケーブルの許容電流値を超え、当該ケーブルが溶損し、最悪の場合、火災になるおそれがある。			

2. 届出者：日産ディーゼル工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月7日	1243	車名：ニッサンディーゼル 型式：KL-AU552WN等 通称名：-	10	平成13年5月10日～ 平成16年6月7日
不具合の部位等	後軸アッパートルククロッドブラケットのフレームへの取り付け部の強度が不足しているため、急発進、急制動時に高い応力が発生し、亀裂が発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該部位が破断し、最悪の場合、プロペラシャフトと干渉して損傷し、走行不能となるおそれがある。			

3. 届出者：日産自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月7日	1247	車名：ニッサン 型式：E-PY31(改)等 通称名：セドリック等	67	平成9年3月11日～ 平成14年7月9日
不具合の部位等	圧縮天然ガス車の燃料減圧装置（レギュレータ）において、高圧側減圧器内部のバルブシート部の寸法およびオーリングの硬度が不適切なため、当該オーリングが変形又は破損することがある。そのため、燃料ガスが高圧のまま低圧側減圧器に流出し、安全弁から外部に漏れるおそれがある。			

4. 届出者：富士重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月8日	1275	車名：スバル 型式：TA-BP5 通称名：レガシィ	1	平成16年1月17日
不具合の部位等	ターボチャージャー付手動変速機車両において、エンジン吸気バルブ開閉タイミングを油圧で制御するためのオイルコントロールバルブ（OCV）のカバー締付ボルトの軸力が低いため、高負荷高回転を継続して使用した場合、エンジン内部の負圧が増大し、OCVのガスケットの変形により当該ボルトの軸力が更に低下することがある。そのため、当該ボルトが緩みエンジンオイルが漏れ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。			
備考	本届出は、平成16年9月15日「届出番号1220」のリコール届出に、新たに対象車を追加するものである。			

5. 届出者：小松ゼノア株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月14日	1267	車名：コマツ 型式：SK051E 通称名：SK05-1	84	平成13年9月6日～ 平成15年12月15日
不具合の部位等	エンジンアースの取り方が不適切なため、アース電流がエンジンのクランク軸と軸受けメタルを通過して流れ、摺動面に電食を発生させるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、電食が発生してメタルが焼き付きエンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。			

6. 届出者：富士重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月15日	1274	車名：マツダ 型式：U-WGFAT改等 通称名：タイタン	83	平成2年11月1日～ 平成15年10月17日
不具合の部位等	塵芥車に改造した車両において、バッテリー位置を変更した際のバッテリーブラケットをシャシフレームに取り付ける方法が不適切なため、そのままの状態で使用するとシャシフレームに亀裂が発生し、最悪の場合、シャシフレームが切断するおそれがある。			

7. 届出者：ピー・エー・ジー・インポート株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月19日	外-1173	車名：ジャガー 型式：GH-J51XA等 通称名：X-TYPE 2.5 V6 SE等	3	平成16年4月6日～ 平成16年4月16日
不具合の部位等	横滑り防止装置装備車において、横滑りを感知する加速度センサー内部にあるラバーダンパーの表面処理が不適切なため、そのまま使用を続けると当該ラバーダンパー表面が剥離することがある。そのため、当該センサーが誤信号を横滑り防止・ABS統合制御ユニットへ送信することがあり、最悪の場合、突然四輪のうち一輪のブレーキが作動し、走行安定性が損われるおそれがある。			

8. 届出者：株式会社東海特装車

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月27日	1284	車名：トヨタ 型式：GE-RZH112K 通称名：ハイース	68	平成14年10月1日～ 平成14年11月19日
不具合の部位等	警察車の警光灯及びサイレンにおいて、ハーネス配線の容量が不足しているため、長時間の使用により経年劣化しハーネスコネクタの端子部に酸化物が発生して、発熱するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該コネクタが熔損し、最悪の場合、警光灯が不灯及びサイレンが鳴らなくなるおそれがある。			

9 . 届出者：セネラルモーターズ・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月27日	外-1171	車 名：キャデラック 型 式：GH-AD32F等 通称名：CTS等	38	平成16年3月18日～ 平成16年6月28日
不具合の部位等	ナックルとコントロールアームを締結しているボールジョイントナットの材質が不適切なため、走行中の振動等により当該ナットに緩みが生じることがある。そのため、異音が発生し、そのまま使用を続けると、当該ナットが脱落し、最悪の場合、ボールジョイントが外れ、走行不能となるおそれがある。			

10 . 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
10月28日	1282	車 名：三菱 型 式：KC-P15V等 通称名：デリカ	25	平成6年6月15日～ 平成9年3月27日
不具合の部位等	粒子状物質減少装置として触媒を後付け装着した車両において、触媒前の排気管と触媒を結合する継ぎ手部の構造が不適切なため、またはメインマフラー前側の排気管の肉厚が薄いため、走行中のエンジン振動に対する排気管の強度が不足しており、亀裂が入ることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、排気管が折損し、騒音が増大するおそれがある。			

11 . 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
10月28日	1283	車 名：三菱 型 式：LA-V73W 通称名：パジェロ	57	平成12年9月8日～ 平成16年1月28日
不具合の部位等	ガソリン燃料装置に圧縮天然ガス（CNG）を併用で使用できるように改造した車両において、CNGの圧力及び流量を制御する低圧レギュレータの内部にある弁のゴム硬度が高く、また弁座の加工精度が悪いため、当該弁のシール性が不十分なものがある。そのため、当該弁からCNGが漏れ、アイドル運転中に燃料濃度が濃くなりエンジン回転不調となる、または、駐車中に内部で漏れたCNGが吸気管に滞留し、エンジン停止直後に再始動を行うとバックファイアが発生することがあり、最悪の場合、ブローバイホースが抜け、ブローバイガスが大気中に放出されるおそれがある。			

〔参考〕

平成16年10月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	40件	32件	8件
輸入車	8件	6件	2件
計	48件	38件	10件

対象台数の追加の届出については届出件数に含まれません。

（問い合わせ先）

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 森田、久手
電話 03-5253-8111（代表）（内線42352・42353）